

2019年10月18日

各位

ゲンダイエージェンシー株式会社
代表取締役CEO 山本 正卓
(コード番号: 2411)
問い合わせ先 取締役CFO 高 秀一
TEL 03-5308-9888(代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当第2四半期連結累計期間において特別損失を計上することとなり、これまでの業績の進捗についても勘案の上、当期の業績予想を新たに見直した結果、2019年4月19日付「2019年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」において発表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

2020年3月期通期連結業績予想の修正 (2019年4月1日 ~ 2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (2019年4月19日発表)	9,800	480	480	310	20.60
今回修正予想 (B)	11,000	510	480	160	10.63
増減額 (B-A)	1,200	30	-	△150	
増減率 (%)	12.2	6.3	-	△48.3	
(参考) 前年同期 (2019年3月期) 実績	12,072	704	700	434	28.89

(修正の理由)

売上高については、主力の広告事業におけるパチンコホール広告需要の当初予測において、慢性的な市況の悪化に伴う、紙媒体広告（折込広告、販促物）の大幅な減少を想定しておりました。そのため、当期においては、当社グループの売上高貢献度の高い紙媒体広告の減少に対して、売上高貢献度は高くはないものの利益率の高いインターネット広告やデザイン外販等の拡販を進めることで、大幅な減収下においても適正な利益水準を確保できる収益構造を目指して活動する計画としておりました。しかしながら、当第2四半期連結累計期間においては、引き続き需要の低迷は継続しているものの、紙媒体広告の需要減は、当初の想定ほど大きくなかったことに加え、いくつかの大口案件受注が売上高増加に貢献いたしました。なお、下期においても厳しい市場環境は継続するものと予測しておりますが、紙媒体需要の減少は当初想定までには至らないものと見込まれることから、売上高は当初予想比で+1,200百万円の増加を見込んでおります。

営業利益については、紙媒体売上高の増加によるマージンの増加を予想するものの、その反面、高い利益率が期待されるデザイン外販の拡販が遅延していることや、海外子会社における電子カジノ運営受託事業の不振による影響等もあり、当初予想比で+30百万円の増加にとどまるものと見込んでおります。

経常利益については、円高進行による為替差損の影響等により、当初予想比での増減はありません。

親会社株主に帰属する当期純利益については、本日別途開示の「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の減損損失112百万円の他、投資有価証券評価損31百万円を計上したこと等により、当初予想比で△150百万円の減少を見込んでおります。

なお、今回の業績予想の修正に伴う、配当予想の修正はありません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上